

備前市事務事業評価シート

事業の概要		平成17年度		根拠法令・例規等	備前市公有財産規則
事業開始年度				問	担当課(室)
総合計画	大項目	基本構想	06	行政「計画推進」	財政課
計画	中項目	基本計画	10	計画を実現する行政	職・氏名
	小項目	施策	46	市有財産の有効活用と適正な管理	
事務事業名		02	庁舎維持管理事業		電話
					0869-64-1811
このシート作成に要した時間					1.5 時間

事業の目的		Plan
対象(誰・何に対して)	来庁者及び職員	
目的(何のために)	本庁舎、分庁舎、保健センター等の適切な維持管理を行う。	
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	良好な職場環境を維持しつつコスト縮減に取り組む。	

事業の実績		事業の説明		優先度
目的を達成するため実施した事業	細事業名			
	庁舎維持管理業務	電気代削減のため、デマンド管理を行い消費電力の削減に努めるとともに、老朽化した庁舎の適正管理のため修繕等を実施しました。		◎
	共済業務	庁舎等の保険加入に関する業務を行いました。		○

決算額	事業費等		単位	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績
	事業費	直接事業費	千円	26,304	26,112	31,786
	必要人員	人件費	千円	0.40人 3,476	0.55人 4,553	0.92人 8,273
	事業費	金		29,780	30,665	40,059
	財源	国	支出金			
		受	益者負担			
繰		入金				
市		債				
	その他()		246	366	449	
	一般財源		29,534	30,299	39,610	
	受益者負担比率	%	-	-	-	

結果指標	結果指標名		単位	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績
	修繕経費		説明	老朽化した庁舎の修繕、工事経費の割合		
	結果指標量	件		19	15	27
	対前年比	%		-	78.9%	180.0%
	活動コスト	円		2,150,190	1,332,124	5,856,532
	単位当たりコスト			88,808	216,909	

事業の成果		平成25年度事業				
維持管理コスト	成果指標名	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度目標値
		目標値(A)	45,000	45,000	45,000	39,000
		実績値(B)	45,886	45,825	56,562	到達目標値
	達成率(A/B)		98.07%	98.20%	79.56%	35,000
成果指標設定の考え方・式や説明						
庁舎維持管理コストを算出することで、経常経費の削減を図る。						

事務事業の評価		該当する項目を□から■へ < ■ ←「コピー」して「貼り付け」してください >		Check
妥当性の評価	市の関与の妥当性	必要	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある	妥当性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い
		市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い <input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input checked="" type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い
有効性の評価	目的達成度	市民参画度	<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNP0、ボランティア団体等が参画している	有効性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い

進行年度(H26年度)の改革改善内容							
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
		○					
説明	老朽化した市役所庁舎を良好に維持管理するため、些細な部分まで気を配り、職員による修繕等を行いながら経費削減に努め、適切な庁舎維持管理を行う。併せて、耐震機能のない庁舎の今後の方針決定へ向けて調査研究を行います。						

総合評価		総合評価
継続したコスト削減に取り組みながら、老朽化した庁舎をいかに良好な状態で保つことができるかが課題です。限られた修繕費等の中で効果的に修繕を行いながら良好な環境を維持します。また、耐震機能のない庁舎の今後の方針決定が急がれます。		A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い
		B

平成27年度の方向性・取組目標							
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
			○				
取組目標	防災拠点でもある庁舎の耐震化を検討する必要があることから、先進地の情報等から様々な手法を検討し、安全な庁舎となるように検討し、方向性を示します。						

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しな